

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2016  
8月号  
vol.601

月刊

# 同友

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

障がい者の可能性を広げたい

時代に流されず、ニーズに応えていく

私たちにしかできない「経営理念」の実践をめざして



特集

月刊同友600号記念 同友広報いま・むかし



## 時代はたっても変わらない、 広報にとって求められること

21世紀型  
自立型企業づくり

### 自社を見直した至極のアドバイス

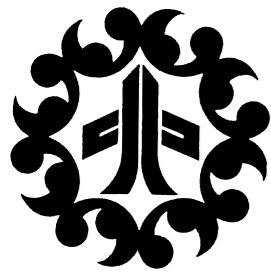
草野 将氏 [株式会社まちのえき]

準特集

### 中小企業憲章推進月間 経営者が語る振興条例

株式会社まちのえき 代表取締役 草野 将氏が経営する  
「放課後等デイサービス はっぴーリーふ」にて





同友会のロゴマークは全国同友会の会員30数名が応募し、福岡のメンバーの案が採用されました。真ん中のシンボルは文田英實氏、周りの模様は鳥越俊雄氏考案。周りの模様は人と人が結びつき、情熱に燃えている集団を表現。

現在、多用されているマークは実は略章で、シンプルになっています。ちなみに中のシンボルは「中」と「小」を表現し、中小企業がはばたき飛躍するイメージを重ねています。



# 時代はたつても変わらない、 広報にとつて求められること

同友会では組織強化をどう広報ですすめていくかを重要な課題としています。前号の600号記念座談会でも「中小企業の広報のこれから」を探りました。  
今号は、月刊同友をはじめ、同友会の広報活動に長らく携わってこられた諸岡昭三郎氏の経験談から、同友広報にとつて求められることを探ります。



**諸岡 昭三郎 氏**  
中同協・広報委員長や福岡同友会代表理事等を歴任。現在、福岡同友会の監事を務める。会歴45年。

## 同友会 3つの目的

### よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

### よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

### よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

月刊同友8月号 自立型企業づくり  
はみだしレポート

草野さんとの出会いは今から25年前、福岡工業大学付属高校（現、城東高校）野球部に入学したときでした。3年間野球を通し、また、寮生活で同じ釜の飯を食った仲です。私が起業して同友会で学びだしたとき、久しぶりに居酒屋でお酒を飲みました。その頃の私は経営指針書作成に意欲を持っていたところでした。

経営の話になりお酒が進み、「草野の会社は経営理念はあるのか？」と問いかけてました（笑）。返ってきた言葉は「ない！」でした。それから同友会での学びや、お互いの経営談を一晩中語り合いました。  
草野さんは即入会され、あすなる塾、二泊三日セミナーと一緒に受講し現在に至ります。もともと、真面目でコツコツ派の草野さん。意欲的に同友会で学び「障がい者の自立のた



株式会社  
まちなぎ  
代表取締役  
草野 将氏  
(糸島支部)

本誌p6掲載

めに子供のころから支えていきたい」という思いで放課後等デイサービスを新たに始められました。  
今期からは糸島支部でブロック長をされています。経営指針書作成と実践を活動内容としてブロック運営をしていきたいと言っていました。  
同友会3つの目的を自分自身の柱に置きこ

株式会社レイオブホープ  
石内 雅盛（筑紫支部）



### 【今月の表紙】

放課後、「はっぴーリーフ」には子どもたちの笑い声が響いています。「音楽を使った教育法「リトミック」やスポーツ、読み聞かせ、菜園活動など、新しい要素を取り入れながら、子どもたちの社会的自立を支援する場所を育てていきたい」と語る草野氏。想いを「理念」とすることで社員の皆さんと共有し、たくさんの芽を出す母なる葉「ハッピーリーフ」のように夢が膨らんでいます。



# 同友広報 いま・むかし

## 全国の広報活動に「新風」を

「中小企業家しんぶん」の創刊号は、1972年の10月1日付で、毎月1回の月刊紙として発行されました。全国各地の同友会活動の内容が充実するにともない、1981年6月から、5・15・25の毎月3回の発行となりました。一般新聞と異なり、会活動の発展を推進し、その役割を考慮し、全国の各同友会の「会費」のなかでまかなう財政措置ができました。

中同協の組織が各地同友会の協議会組織であり、事務局員も数が少なく、全国各地の活動をすべて網羅することは不可能です。

「紙面刷新」を合言葉に、各地同友会の支援を強化する体制づくりのために、「談論風発」の会議に参加するたびに、各地の先駆者のみなさんの士気高揚に刺激された日々を思い出しています。

「創刊号」のトップ記事は、4段見出しで「列島改造と、中小企業」で、このテーマを柱に、第3回中小企業問題全国研究集会で6分科会がひらかれ、当時の業種業態の問題点が浮き彫りにされていました。

ちなみに、当時の総理大臣は、新潟出身の田中角栄氏で、戦後12代目（在

職・886日）でしたが、みなさんご承知のように、異色の経歴をもつ人物でした。

例の「石油危機、狂乱物価」で、日本国中が騒然となり、儲ける人と、損する人を二分する経済の異常事態が発生。その反面、対外的には、中国の周恩来首相と「日中国交回復」の推進に力をつくしていました。

産業別には、業種・業態の大きな変化があり、とくに、「新聞・出版・印刷業」などの分野にとっては、本格的なカラー印刷のはじまりでした。

私は、当時、全国各地同友会の「広報連携」をめざして活動していました。職業柄もあり、「機関紙づくり講座」を地元推薦の講師の皆さんと協力し、振り返れば「福島・東京・大阪・広島・熊本」など、中同協・広報委員長の役割を果たしてきました。



全国各地で「広報講座」を開催し、広報の大切さを伝えてきました

組織を無視して

広報はできない

中同協「広報委員長」

として「広報交流会」

全国開催に

こぎつけるまでの経験に

学びました。

には、次のようなエピソードがありました。

それは、1982年に「西日本地区の各県役員交流会」が広島県の福山市でひらかれ、私は、久しぶりに京都市報社長の松村茂さんと再会し、福岡同友会の井上順善さんと共に懇談をかさね、一般的な役員交流だけでなく、「京都と福岡」で、その共通のテーマで、それも「広報」にしよう、と合意しました。

歴史はさかのぼり、話題が、菅原道真（平安朝時代の貴族・語学に優れた文章博士の称号あり）のことになり、菅原道真が藤原時平の策謀によって、京都から福岡の太宰府に左遷されたことで、北野天満宮の梅が、道真を慕って

過去・現在・未来…

時代の流れを正確に

把握する中で、

ヒト・モノ・コトの芯を

捉えて伝えていく

リーダー力。

「広報」には重要だと

感じています

# 広報交流会 いま・むかし



ゆかりの地太宰府では何度も講演や交流会を開催しています

「飛梅」となって太宰府に飛来した由来などにおよびました。

西日本地区の「広報交流会」の第一回として、福岡でひらき、梅の太宰府の見学と記念講演に、私の先輩である西日本新聞の記者だった森一作氏の「日本人の表現」と題し、お話し、集まった人々の共感を得て大好評でした。

しかし、その話が各地同友会に広がりをみせたのはよかったが、当時、中同協の仲野専務幹事からお目玉をくれました。

仲野さん、いわく「諸岡さん、だめじゃないの。京都と福岡だけの交流なら自由でいいでしょうが、『第一回西日本広報交流会を福岡で』の案内状は組織無視だよ。事前に相談もなかったし…」

中同協の「広報委員長」の重責にありながら、気負い過ぎで、猛省する始末で、弁解の余地なしでした。その後、松村さんの助言もあり、林南山さん、曾和登さんなど、京都同友会のご協力もあり、正式に中同協の広報委員会が論議のあとに「全国開催」にこぎつけました。

中同協の「第一回全国広報交流会」は、記念講演に、作家の邦光史郎さんが「十年後の日本」というテーマで、これからの教育・情報・通信などの分野で、どのような変化が起きるのか、興味あるテーマでしたが、その後の検証

## 第一回全国広報交流会 古都・京都でひらく

### 作家の邦光史郎さん講演 「十年後の日本」

1984年の1月に京都で「中小企業家同友会の第一回全国広報交流会」がひらかれましたが、これを開催する

で十年、二十年を経過するなかで、問題の指摘が的中していたので驚いた次第でした。

「明治から大正・昭和の時代につながる活字メディアの時代は、紙媒体が主流だったが、その後の映像文化、コンピュータ、エレクトロニクスなどの先端技術の多様な変化にもなっており、情報・通信の分野でも、エンターテイメント（娯楽）志向型の傾向が急激に加速し、新聞や週刊紙、月刊紙は、一部を除き減紙傾向にあり、その証拠に各地の印刷分野の地殻変動が起っています。

すでに、この世を去られた作家の松本清張さんや司馬遼太郎さんは、かつて国文学者などとの『文芸対談』のなかで、映像文化優先の時代に対抗し、活字文化は「一文一義」主義でないと読者の定着がきびしくなるでしょう。と予言し、短文で、ポイントをしぼった文章方法が必要ですよ。と力説されていたのは興味深いですね。

また、作家の井上ひさしさんは、いつも「難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを楽しく」と、そのモットーを力説されていたが、私は、ユニークな本「ふ・ふ・ふ」という題名の井上さんのエッセイ集を読んで、その論理の明快さ、痛快、愉快の三つの快に共鳴し、感動していました。その一部を紹介します。

『世界一長い名』という標題のなかで「ミヤンマーの作家が羨ましくなる。そこでは、姓を必要としない」話題の「アウンサンスーチー」と気に入った言葉を並べれば、それで名になる。アウンは勝つ、あるいは優れた。サンは稀な。スーチーは集まる。チーは清らかな。つなげれば、世にも稀な清らかさ溢れる優れた人」とても美しい。』



私は「同友会運動を新しい未来へ飛躍発展させるためには「同友会理念」を歴史的な流れと共に、正確な道すじを把握する強力なリーダーが必要だ」と思っています。

同時に、ただ単なる「口承者」にとどまることなき、人の話を心から聞く、度量をもった、運動の語り部が推進役となっていたことが、殊の外、重要だと感じています。

「草創期」先駆者の鳥越俊雄さん、竹中七郎さん、文田英実さん、川添隆助さん、武内正樹さん、有馬正人さんなど、多士済々の故人を偲びながら…



# 自社を見直した 至極のアドバイス

同友会の学びで自分の強みを活かす

株式会社 まちのえき

まろ

代表取締役  
**草野 将 氏**

糸島支部

介護の仕事で悩む中、同友会に出会い、経営指針書の作成や会員仲間のアドバイスで自分の進むべき方向・ビジョンを見出し、いきました。

取材 広報部  
文章担当 菅原 弘(東支部)  
写真 真 富谷 正弘(玄海支部)

## 母が介護の仕事をしてきたことがきっかけ

草野さんは学校を卒業後、いったんは神奈川県で就職しましたが、肌に合わず福岡に帰ってきていました。何もせずにいたところ、母親からボランティアを勧められました。仕事は、高齢者の方とコミュニケーションをとることで、昔話を親身になって聴いていました。

「中には涙ながらに話してくれる方もいますね。」  
徐々に介護という仕事に関心を覚えるようになり、3年ほどの実務を経て介護福祉士の資格を修得し、特別養護老人ホームで勤務するようになりました。さらに5年の経験を積んでケアマネジャーの資格を取り、病院で働きました。

「その頃は自分の思い通りにやれなくて、調子に乗ってたんですね。」

「仕事をしていた納得のいかないことが多々ありました」と草野さんは当時を振り返ります。たとえば、利用時間

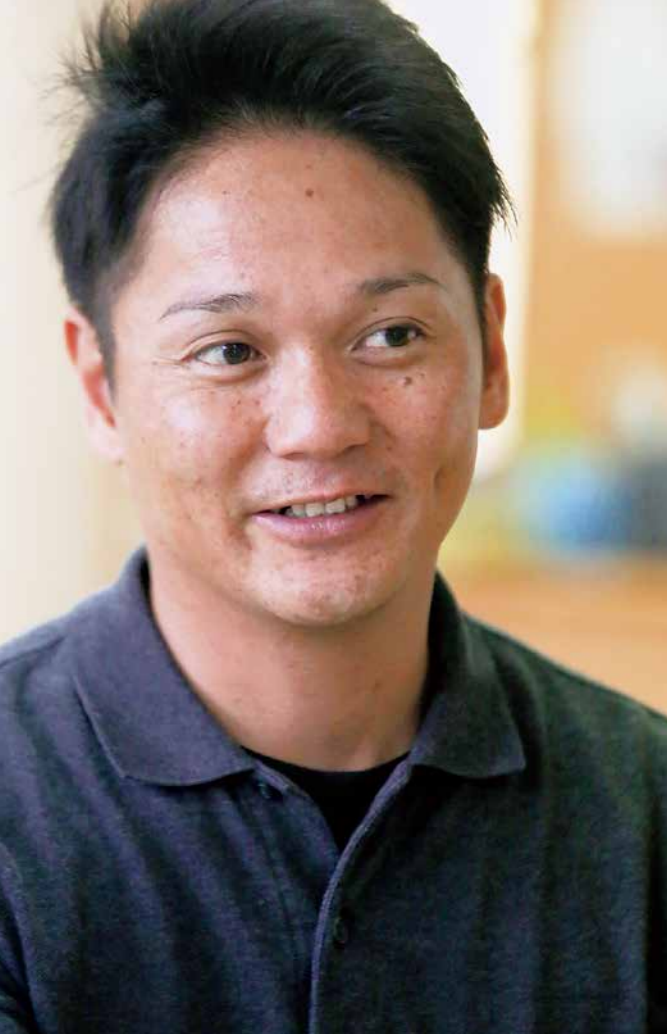
の延長を受け入れず、利用者に対して「それなら来なくても結構です」という対応をしていることがありました。「もっと利用者の要望を聞いてあげたい。草野さんは15年積み重ねて修得した介護のノウハウを活かし独立を決意するのです。」

## 設立したもの...

『株式会社まちのえき』を設立させま

した。社名は、『道の駅』からヒントをもらいました。  
『道の駅』は何らかの理由を持って行きますよね。そんな場所になればいいなって思っていました。  
平成21年、福岡市西区の自宅を改装し、『デイサービスよかよか』を立ち上げました。収入は支給される保険料に抑えます。介護需要は多く、早々に定員に達し、順調なスタートを切りました。まもなく2号店「よかよかII」を

自分の内にある想いを「経営理念」として言葉に変えて社員と共有することこそ経営の第一歩だと気付きました。



障害者雇用を考えてもらいたいと語る草野 将さん

絵本の読み聞かせ時間  
児童たちは絵本に集中しています



## 株式会社 まちのえき

創業 2009年6月  
住所 (高齢者向けデイサービス)  
福岡市西区泉1-31-11  
(放課後等デイサービス)  
糟屋郡志免町南里7-7-15  
電話 092-936-2673  
社員 正規3名 パート15名



同じく西区にオープンさせました。  
「その頃は自分の思い通りにやれなくて、調子に乗ってたんですね。」  
需要は多いものの、法改定が重なり保険料は減っていききました。また西区は大手など競合相手も多いエリアで、隣接する糸島市は全く別の規定が適用されています。利用者も増えず、資金や人材など経営面で壁にぶつかってしまいました。  
そこで古くからの友人で障がい者福祉サービスの社長・石内雅盛さん(筑紫支部所属)に相談してみました。すると「草野、経営理念あるか?」と聞かれ「はあ?何それ?」。経営の勉強をしていない自分に気づき、すぐ同友会に入会するのです。

## 至極のアドバイス

同友会では経営理念を考える『あすなる塾』を受講しました。草野さんの頭の中では、草野さんなりの正義感・仕事観がモヤモヤと渦巻いていました。また石内さんとの話の中で、「障がい者の就労支援は、もっと早い段階、つまり子どもの時から取り組めばもっと可能性が広がる」という言葉が心に留まりました。「そこはオレがやる!」とすぐに思ったそうです。

続いて『経営指針作成セミナー』(2泊3日)に参加し、方針と戦略を考えていきました。グループ討議のときの

ことです。テーマは「自社の経営課題」でした。そこで草野さんは「営業を掛けても利用者が来なくなってきた」と話したところ、「あなたは外ばかり見ていませんか?」と言われ、目からウロコが落ちる思いでした。それまでワンマンでスタッフのこともあまり考えないでいたことや、社員教育もしていないなどの反省点が浮かびました。

## 新事業立ち上げ

『経営指針作成セミナー』から帰ってきた草野さんは改革することにしました。まず、西区にあった2店のデイサービス施設を統合させました。管理を幹部に任せ、社内教育の強化を図りました。

「それまで人に任せることができませんでした。今ではスタッフが自主的に



2015年11月にオープンした  
放課後等デイサービスはっぴーりーふ外観



リトミックやスポーツを通して  
交流すること  
新しい環境に順応し  
コミュニケーションをとれる  
子どもの心を育みたい



園庭には子どもたちが育てたプチトマト

経営理念の読み合わせをするなど、具体的な行動に落とし込んでいます。任せることで人が成長することが分かりました。」

一方草野さん自身は、新しく「放課後等デイサービス」を始めることにしました。これは障がいのある6歳から18歳の就学児童・生徒が学校の授業終了後や長期休暇に通う施設の事で、保険料（利用者一割負担）で運営され、発達障害や自閉症などの子どもたちは増えています。



自立活動を促す掲示物

開設場所選びのためにマーケットリサーチを行いました。人口が増えているエリア、特に学校が多い糟屋郡を候補としていました。

障がいを持った子どもたちを、学校の登校日は13時30分から17時30分まで、休校日は9時30分から16時30分までお預かりし、社会との交流促進などの活動を通して社会性や自立を促すことを目的としています。利用者の親からはコミュニケーションを取れるようになることと、毎日の宿題をすることを要望されています。

宿題とおやつの時間以外は子どもたちが自分でスケジュールを組むよ

うにしています。違う学校に通う友だちと会えることが楽しみになっています。特に「リトミック」と呼ばれる音楽とスポーツを取り入れた活動が特徴的です。ゲームでは「勝っても自慢しない、負けても泣かない」などのルールを決め、コミュニケーションを図っています。

園庭にはプチトマトが育てられています。最初は子どもたちが育てていました。「これは子どもたちが育てていました。最初に成長具合を観るんです。トマト嫌いも治りました」と草野さんは笑顔で説明してくれました。

### 将来のビジョン

ここでも、草野さんはスタッフの社内教育や情報の共有を重視しています。現在利用者は6名ですが、少しずつ増やしていきたい、それに伴いスタッフも増員を見込んでいます。

現在の課題は、前述の通り保険料に

経営が左右されることです。そこでこの「はっぴーふ」の売上を上げるとともに、就業継続支援A型施設を考えています。これは障がい者と雇用契約を結び、原則として最低賃金を保障する仕組みの雇用型障がい施設サービスです。

### 自立できる会社をめざして

「同友会の会員さんには、経営者としてもっと障がい者雇用を考えてもらいたいと思っています。雇用しない企業は、障がい者雇用についてよく分からないから雇用しないのだと思います。まずはぜひ「バリアフリー委員会」に顔を出してみてください」と呼びかけました。

取材の最後に草野さんが考える自立型企业についてお伺いしました。「時代のニーズに応じて、自分でしっかりと売上を上げて自立していく会社だと思います。初めは全くの自己流で仕事をしていたのですが、同友会でいただいたアドバイスでいろいろと考え方が変わりました。社内教育に力を入れていくことで、自社が進むべき方向も明確になりました」と力強く締め切っていました。

取材協力ありがとうございます。

福岡同友会  
中小企業憲章  
推進月間  
6月

2010年6月に「中小企業憲章」が制定されて6年が経ちます。中小企業家同友会全国協議会では、制定の翌年より6月を『中小企業憲章・条例推進月間』として、全国一斉に「中小企業憲章」と「中小企業振興条例」の推進運動に取り組んでいます。地域経済を支える中小企業への期待も益々高まり、これまでに「中小企業振興条例」も、41都道府県154市区町(2016年3月現在)で制定されました。昨年は福岡県(2015年10月)にも制定され、直方市、北九州市、田川市に続き多くの市町村で条例制定への動きが始まっています。

## ～経営者が語る振興条例～

2016年度の中小企業憲章・条例推進月間(6月)では、6月30日、大阪同友会副代表理事の藤原義春氏を招き、TKP博多駅前シティセンターにて、大学習会を行いました。

文章(講演よりまとめ) 菅原 弘(東支部) / 写真 旭 晋平(事務局)

### 事例報告ダイジェスト

## 中小企業が まちを暮らしを元気にする

大阪府八尾市では2001年に「八尾市中小企業地域経済振興基本条例」が制定されました。パブルが弾け、大型商業施設は撤退し、地域経済を何とかしようと産業振興会議が開かれての動きでした。

条例制定後、八尾市中小企業サポートセンターが設立されました。様々な分野のスタッフで構成し、異業種交流会も開催しました。そんな中、サポートセンターに「仕事をください」という人が来るようになり、行政が何かをしてくれるのではないかと受け身になっていくのです。これは勘違いです。やがて補助金も減額、そしてなくなっていました。自社の強みが分からないままにしてはいけません。私は2009年に産業振興会議の委員になり、行政の協力が撤退していること、中小企業も条例の受け止め方が違うと感じるようになりました。

そこで条例を改定する動きを始めました。その基本的な考え方が4つです。

- 1 中小企業は良い会社を作る努力をすること
- 2 行政は中小企業支援施策を実施する責任を負うこと
- 3 市民(社員や学生を含む)の協力を得ること
- 4 大企業の協力を得ること

2011年に条例が改定されました。理解しやすいように心がけて作られました。前文には、ここで暮らしたい、ここで働きたい、そういうにぎわいのあるまちづくりをすることが盛り込まれました。そうしたまちづくりをするためには、市民・行政・企業の信頼関係が必要であるということを明確にしました。産業振興会議がこの条例の実施を監督し、市長に提言することになっています。

次頁へ続く



株式会社藤原電子工業  
藤原 義春 氏

【報告者】  
株式会社藤原電子工業  
代表取締役 藤原 義春 氏  
大阪同友会 副代表理事



# 3ステップに分けて条例の目的を实践

また、議論を深め、新しい条例の理念を明確にしました。中小企業・市民・行政が協力してロボット授業やロボコンの開催、小学生向けに中小企業の紹介ビデオの作成、「八尾ものづくりカレッジ（ものづくりセミナー）」、若手後継者育成の環山楼塾の開催、新しい産業の創出「八尾シンポジウム」などの活動を新たに始めました。

中小企業の役割は、自主的・自立的な企業になることです。つまり黒字企業でなければなりません。同友会の3つの目的（「よい会社をつくろう・よい経営者になろう・よい経営環境をつくろう」）、自主・民主・連帯、そして地域や国民と共に歩むという3つの理念が活かされることです。そのためには経営指針書を作成し、実践することが必要です。

八尾支部の事例では、「ものづくり部会」の意義を検討し、その理念は時間を掛けて作成しました。ただ単に企業連携で良いものができたとしても、それが本当に売れるのか、お金を出しても買いたいと思える商品なのか、考えたい商品なのか、考えたい商品なのか、考えていきました。

第1ステップとして八尾シンポジウムを開催しました。今年で18回目になります。大学の協力を得ての開催です。そして地域産業の創出をめざし、「有志の会」を立ち上げました。大学・商店・製造業がそれぞれの強みを活かし、お互いを繋げていきました。お湯を使わない足湯「ゆっ太郎」や水を使わない花瓶「冷花」などの商品が生まれました。

商業・工業・大学・行政の連携を図る予定です。いま出ているのは八尾市の特産物である枝豆でビールを作る取り組みです。障害者施設との連携も始まります。

第3ステップでは、「八尾のブランド力」づくりに取り組んでいく予定です。こうして八尾で暮らしたい、八尾で働きたいという条例の目的を具体的に取組んでいきます。同友会はこの運動体の先導役にならなければなりません。中小企業家自らの力で日本経済を守る使命感を持たなければなりません。日本経済を支えるのは中小企業です。日本を元気にするのは中小企業です。同友会が大きく社会貢献できるように、共にがんばりましょう。



大学学習会には57人が参加しました



中小企業憲章推進副本部長 新内 一秋 氏

## 中小企業憲章・中小企業振興条例の運動は中小企業を助けるものではない

福岡県では、昨年10月に福岡県中小企業振興条例が制定されました。直方市、北九州市、田川市、飯塚市に続き、他の市町村で条例制定への動きが始まっています。福岡県ではその条例を受けて、福岡県中小企業振興基本計画も策定され、いよいよ具体的な取り組みが行われようとしています。正に実践の段階に入りました。

でいくかを考える場にしたいという思いから、大阪同友会副代表理事の藤原社長をお招きする運びとなりました。藤原社長の報告から、私たち経営者が受け身では何も変わらない。と、取り組む姿勢と気持ちが変わっていることを思い知らされました。憲章・条例の運動は中小企業を助けるものではなく、中小企業観の転換が求められています。私たち同友会が、会員が主体的に行動を起こし先導役になることが必要であること。それにはまず始めに自社が本当にいい会社にならなければならない。と問い、実現せねばなりません。また、条例を生かすには適正な地域規模があり、地域のことを語る場をつくる必要性を強く感じました。



## 憲章シンポを終えて



政策金融室長 玉井 輝大 氏

福岡県、福岡市、志免町などの公共団体や、中小企業団体、鹿児島県同友会からの参加もあり、6つのグループをつくる参加者を得て、内容を深めることができたシンポジウムでした。回数を重ねるたびに憲章・条例運動も広がりをを見せているという実感を得ました。

八尾の藤原さんの活動は、行政だけでなく広く各界を巻き込み、中小企業振興を進めています。2001年にできた条例を、「仕事ください」の受け身のものから、「中小企業は良い会社をつくる努力をし」、「行政は施策を実施する責任を負う」、「市民の協力を得る」などの原則に基づき、八尾市の将来像を盛り込んだ「理念型条例」を2011年に作り直しました。同友会活動の中核である「経営指針書づくり」を実践しながら、八尾市産業振興会議のほぼ全員が参加する「有志の会」を立ち上げています。

藤原さんのお話には「有志の会」というのがいろいろ出てきます。まずは「八尾市産業振興会議の有志の会」は



振興会議のほぼ全員が参加し、さらに、商工会議所会員、公募委員、同友会、八尾市産業政策課、大学ゼミ生、商店会などまで巻き込み、まさに、八尾市の中小企業振興の牽引車としての働きをしています。ここを核に「第18回八尾シンポジウム」を開催し、さらに、農業・商業・工業・大学・行政の参加による「新しい産業をつくる有志の会」へ発展させてあります。中小企業は努力をし、行政や広く市民からの協力を得て、「良い経営環境をつくる」、「自主・民主・連帯」の「国民や地域と共に歩む中小企業」の同友会理念そのままの实践活动を行なっていると感じました。まずは志ある「有志の会」をつくる、それがポイントだと思いました。最後にリーフレット「公平な税制をめざして」を紹介させていただきました。参議院選が終わわり、外形標準課税拡大などの動きが予想されます。このリーフレットにまず目を通して、身近な人々と税制を語りはじめていただければと思います。



## 6 土 11:45～19:00 ひびき支部 納涼会

納涼会inヤフオクドーム

## 8 月 18:30～21:00 経営労働委員会 労務管理部 人事・労務の基礎知識セミナー

社員が健康で働きやすい職場とを感じるよう  
事業主は職場環境をどのように変えていったらよいか

- GGソーラービル 福岡市中央区天神3-4-9 ☎092-714-0451
- 北原 勉氏 社会保険労務士法人 COMMITMENT 代表社員 博多支部

労使関係を常に安定的に保ち、働く人が仕事と生活を調和させながら安心して働くことができるように、啓蒙していくためのセミナーです。今回は起業して5年未満の方は特に参加されたい勉強になると思います。

※今回は(公社)全国労働基準関係団体連合会 福岡県支部 との共催です。

## 17 水 18:30～21:00 東支部 8月例会

イマドキ社員の指導の仕方・  
男女脳の違いを知りビジネスに活かす

- ホテルセントラーザ博多 福岡市博多区博多駅中央街4-23 ☎092-461-0111
- 有田 麻紀氏 心月 代表

九州電力株式会社入社後、秘書室で約14年間、役員付き秘書や女性課員統括役などを歴任。秘書業務の経験を活かしたビジネスマナーやホスピタリティを礎とした実践的な研修を、地場民間企業・官公庁等で実施。

## 17 水 18:30～21:00 糸島支部 8月例会

地域の中で障がい者と共に

- 大牟田文化会館 糸島市前原東2丁目2-5 ☎092-322-2481
- 加賀 さとみ氏 合同会社ゆめいる舎 代表社員 糸島支部

高齢化と少子化が進行して行くこれからの社会では、その様な支援を必要としている人達が益々増加していくものと思われまます。その様な人達に少しでも役立てる社会を私達経営者が作り出していく必要が有ると思っています。

## 17 水 18:30～21:00 大牟田支部 8月例会

事業承継時のトラブルに備えよ!

- 前原公民館 大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
- 辻本 聡氏 エスベランサ税理士法人 代表社員 福友支部

「事業承継」は中小企業の経営者にとって大きな課題です。事業を受け継ぐ双方の問題は、マスコミでも話題とされる内容の一つとなっています。これは遠い未来の話ではなく、いつか確実に訪れる必然の課題なのです。中小企業の永続性による存在価値はまさに「事業承継」にかかっています。我々はそのために知識を身に付け、来たる未来へ備えることが必要です。

## 18 木 18:00～21:00 福博支部 納涼会

- 炉端 一 ~ichi~ 福岡市中央区大名1-3-37 2F ☎050-5827-2269

## 18 木 18:30～21:00 中央支部 8月例会

人間関係破壊が経営の危機を産む

～愛が動くとき不可能が可能になる～

- 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11F ☎0120-323-920
  - 黒岩 幸子氏 創伸テクニカルサービス株式会社 代表取締役社長 中央支部
- 創業社長と後継者の葛藤、理想と理想のぶつかり合い、人間関係の難しさ。マイナス要因が次第に業績に反映されていく。しかし、がむしゃらに努力していく中、様々な出会いを引きつけ、人との会話・言葉からヒントを見つけ自分自身に問いかける。そして、そこに気づきが生まれる。自分の正しき理想は実は自己中心のだったと、「愛を土台に感謝に生きる」この想いが経営理念・ビジョン・目標・行動へと一貫して貫かれたとき物事は一気に動き出す。企業は人なり!正にこのことである。社内が一致団結していくまでの迷い・もがき・苦しみ・気づき・思考変化を赤裸々に語ってもらいます!

# 8月の

# 行事案内

## 18 木 18:30～21:00 福友支部 8月例会

企業が成長し続けるために必要な  
採用と定着の在り方

- ウィズ・ザ・スタイル 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
  - 曾根田 馨氏 株式会社カクマル 代表取締役 福友支部
  - 高橋 康徳氏 株式会社カウテレビジョン 代表取締役社長 福友支部
- パネルディスカッション方式でお二人に登壇していただき、業種・業態は違えども、人材の採用と定着という点で、概ね成功している事例を報告していただき、人材確保に対する考え方が変わった出来事やタイミング、具体的にいつから何を行っているか、なぜそうしようと思ったか等の質問を投げかけ、人材確保への在り方について、共通項があるという前提で、その共通項をあぶりだし、共通項について深めていく。

## 18 木 18:30～21:00 筑豊支部 8月例会

なるほど! 振興条例

～直方市中小企業振興条例を知る・生かす～

- ユメニティのおがた 直方市山部364-4 ☎0949-25-1007
- 小川 祐司氏 直方市商工観光課 課長
- 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長 筑豊支部

直方市は平成24年10月に「直方市中小企業基本条例」を制定し、「直方市産業振興ビジョン」を策定、そして今年3月には「直方市産業振興アクションプラン」が完成しました。この機会にこれまでの経緯を理解し、今後の取り組みについて同友会として、また経営者としてどのように関わっていくのかを考えます。さらに、地域振興のためにどうすればよいのかを積極的に意見交換し、地域づくりに貢献できる機会とします。

## 19 金 18:30～21:00 久留米支部 8月例会

同友会活動を製造業にどう取り込み生かしているのか。  
先進事例に学ぶ。

- みんくるセミナー室 久留米市六ツ門町3-11 ☎0942-30-9067
- 竹下 政敏氏 竹下産業株式会社 代表取締役 有明支部

竹下産業が立脚する業界について、事業内容について理解を深め、事業内容に対し同友会活動がどのような効果を発揮したのかについて学びます。

## 19 金 9:30～21 日 16:00 経営労働委員会

経営指針作成2泊3日セミナー

- 虹の松原ホテル 佐賀県唐津市東唐津4丁目 ☎0955-72-9127
- 参加費 テキスト代、宿泊食事代含む:45,000円(再受講 35,000円)
- 申し込み方法:①申込書の提出と②参加費の入金をもってお申し込みとなります。参加希望の方はTEL:092-686-1234(事務局 森元)までご連絡ください
- 申し込み締め切り:2016年8月5日(金)

## 20 土 10:45～15:00 西支部 納涼会

西支部会員交流納涼会

家族で交流!地引網&BBQ in 糸島

- 初音旅館 糸島市志摩新町476-1 ☎092-328-2038

今回は糸島市に場所を移し会員とその家族で地引網・BBQを体験し「仲間・学び・活かし合い西支部づくり」をすすめてまいります。お子様からお孫様、お父様、お母様まで家族であれば参加頂けます。小中学生向けのイベントもご用意しています。

## 23 火 18:30～21:00 博多支部 納涼会

- ANAクラウンプラザホテル福岡 福岡市博多区博多駅前3-3-3 ☎092-471-7111

## 23 火 18:30～21:00 南支部 8月例会

- 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-1 11F ☎0120-323-920
  - 麻生 隆史氏 学校法人麻生教育学園 九州情報大学 学長 南支部
- 情報大の就職課の動きや考え、実際の就職先、情報大として学生をどのように中小企業に売り込もうとしているのか、情報大の強みなどを報告してもらうことで、我々が求める学生の考えや求めているものを理解してもらいます。

## 23 火 18:30～21:00 玄海支部 8月例会

日本の道にふれる夕べ

- 玄海茶人 中村司と真剣居合人玉井輝大が日本の伝統文化・武術に誘う!!
  - セントラルホテル福岡 福岡市中央区渡辺通り4-1-2 ☎092-712-1212
- この例会は、日本人の文化「道(どう)」について2名の玄海支部会員に茶道・居合道を通してその歴史、成立ち、心について語って頂き、現代日本人が失いつつある道を今一見つめなおし、その精神を経営に反映させることを目的とする。

## 23 火 18:30～21:00 かすや支部 8月例会

経営理念 作成後に変化した会社の具体例

- 松原 照明氏 シーエススチール株式会社 代表取締役 かすや支部

## 23 火 18:30～21:00 北九州支部 8月例会

同友会の活かし方

- コムシティ 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
- 松木 祥也氏 株式会社松木工務店 代表取締役社長 北九州支部

## 23 火 18:30～21:00 嘉飯支部 8月例会

社長、変わってください!! じゃないと僕辞めます!

- ～ワンマン社長が社員に胴上げされるまでのキセキ～
- バドゥール・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
- 三宅 信二郎氏 株式会社三宅建築工房 代表取締役社長 嘉飯支部

今回は、三宅さんご自身の理念の設定の仕方やその理念をどのように浸透させていったかを報告していただきます。従業員達から恐れられていたワンマン社長が、昨年の会社設立10周年記念会では従業員達から胴上げされるまでに至った奇跡の軌跡をお聞きください。

## 23 火 18:30～21:00 企業連携推進委員会 FAST8月例会

商店街を変えるプロジェクト・  
若者と高齢者が融合する街づくり

～未来にチャレンジするまちづくり会社～

- 福岡県中小企業振興センター 403会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-6230
- 春田 統一氏 株式会社春田建設 代表取締役 嘉飯支部

春田氏は、飯塚市の中心街地活性化基本計画により設立された株式会社まちづくり飯塚の設立にかかわり、飯塚中心市街地が多くの方に楽しめる「コミュニケーションゾーン」として賑わいのある空間づくりの活動をしていらっしゃいます。商店街の空き店舗対策、イベント企画提案・運営サポート、交通の手段のない人の地域内移住、高齢者と若者の交流の場作りなど、様々な取り組みを進めていらっしゃいます。

## 23 火 19:00～20:30 国際交流委員会 8月勉強会

海外展開に必要な法務知識

- 福岡市文学館(赤煉瓦文化館) 福岡市中央区天神1-15-30 ☎092-722-4666
- 田中 雅敏氏 明倫国際法律事務所 所長

## 24 水 18:30～20:30 共育委員会 第2期リーダー共育研修 企画会議

豊かな人間性を育む幹部社員研修

- 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234

9月～11月にかけて、幹部社員層向けの「第2期リーダー共育研修」を開催致します。同友会らしい社員教育の場として、「豊かな人間性を育む」をテーマに全3講を企画します。今回の企画会議に会員(もしくはそれに準ずる方)が参加することが、研修への参加条件です。

## 24 水 18:30～21:00 りょうちく支部 8月例会

事業承継

- うきは市総合福祉センター会議室 うきは市吉井町347-1 ☎0943-76-3977
- 辻本 聡氏 エスベランサ税理士法人 代表社員 福友支部

## 26 金 18:30～21:00 筑紫支部 納涼会

- とんぼ 福岡市中央区西中洲1-4プロスベリタ西中洲2 8F ☎092-406-8628

## 27 土 11:00～14:30 青年支部 納涼会

納涼会

- ざうお(BBQ Garden) 福岡市西区小田79-6 ☎092-809-2989

## 27 土 14:00～17:00 同友すばる委員会 事業承継塾 第2講

事業承継計画書の作成

- 電気ビル共創館3階 福岡市中央区渡辺通り2-1-82 電気ビル本店隣 ☎092-714-5743
- 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長 筑豊支部

昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。いかにスムーズに受け継ぐことができるか。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があると考えます。承継するにあたって必要になる手続きや知識、心構えを学び、企業づくりに役立てるため、共に学びましょう!

## 30 火 18:30～21:00 有明支部 8月例会

ストレスチェック制度の紹介

- 大川市内を予定
- 石竹 達也氏 久留米大学 環境医学教授

現在は従業員50人以上の会社でストレスチェックの実施が義務付けられていますが、数年後には会社規模にかかわらず実施しなければならない見込みです。そのときに備え、8月例会では経営者として知っておくべき従業員へのストレスチェック制度について学びます。

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。  
お申し込み、お問合せは、e.doyu  
もしくは、同友会事務局までお願いします。



# 2016年度 第2回理事会議事録

日時 2016年6月22日(水) 14時30分～16時40分  
会場 福岡県中小企業振興センター202会議室

出席 46名(出席率78.0%)  
議長 新内 一秋(副代表理事)

## 審議事項

### 1. 2017年度役員選考委員長の選任および役員選考委員会設置について

- 役員選考委員長に中村高明理事が推薦され、承認された。
- 選考委員会を設置するために、7月19日までに各地区より2名ずつ選考委員を選出する。本部・室・委員会からは3名。事務局長と役員選考委員長を入れて13名で構成する。本部・室・委員会からは選考委員長より3名を指名する。なお、選考委員会を開催し、副委員長2名を選出する予定となった。

理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2016年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

## 協議事項

### 1. 「公平な税制をめざして」学習討議運動の推進について(グループ討論)

- 中山代表理事より、2014年に取り組んだ外形標準課税導入反対の取り組みの総括の中で、税制は難しい、まず我々が勉強することが必要、ということで年1回の勉強会を開催してきた。第1回目は山口義行氏を招き、第2回目はアルファ会計の税理士菅氏をお呼びした。そこで日本の税制について学び、その延長線でこのパンフレットを作成した。税制の実態を示し、経営者だけでなく社員や家族も合わせて学習討議する目的にしています。このパンフレットをどのように活かしていくか、またこれを使ってどのような運動を展開していくか、運動の先頭に立つ理事の皆さんにしっかり議論して運動をつなげていただきたい。
- ※ 7グループに分かれてグループ討議を行なった。今後も地区、支部で議論を深めていくこととした。

福岡県中小企業家同友会・経営指針作成

2泊3日セミナー

# 経営指針作成セミナー

危機突破へ!

今こそ経営指針書を!

経営指針作成セミナーは「あすなろ塾」での学びをさらに深め、新たに経営方針・経営計画を加え、2泊3日で経営指針書を作成します。

経営指針を成文化することは、漠然としたものを形にし、目に見えるものにする事です。それによって企業経営の枠組みが整理され、筋道がたつこととなります。成文化は、経営者のいちばん大切な義務・責任です。

受講をお勧めする方

- 既に経営理念を作成している方
- 経営指針書を作成しているが、また作り直したい(見直したい)方

日程 8月19日(金)～21日(日)

会場 虹の松原ホテル 佐賀県唐津市東唐津4丁目 ☎0955-73-9111

参加費 45,000円 (再受講35,000円) (宿泊費、食事、資料代含む)

対象 あすなろ塾受講済みの会員

- ※1 受講者の方には開催約一ヶ月前より宿題をメールでお送りします。
- ※2 申し込み状況により、相部屋になる場合がございます。ご了承下さい。

参加者の声

社員に伝える為、会社を良くする為、社会を良くする為の経営者の想いの重要性を実感しました。



参加者の声

自社の強み弱みを書き出すことにより、戦略・実行計画を立てられる事が分かった。



北九州発 ペット情報誌 Animö

春と秋の年に2回発行するフリーペーパー。発行部数約10,000部。北九州・遠賀・中間地区の約150ヶ所に設置。



会社の裏で誕生した子猫たち



イベントでの撮影会の様子



配送・設置も社員が手分けして行います

2011年、会社の周りに住み着いた野良猫が子猫を産むという事件が起こりました。社員で10匹近くの子猫の里親探しに奔走し、また社員自身も飼い主となったのです。その前年の2010年8月、わが社は経営理念を新しく策定しました。印刷に加え、お客様の広報全般にわたるサポート強化に取り組み中、「情報を伝える」事業を通して地域社会と共に発展・向上する」という目標を掲げました。そこで、自ら選択した情報で広報活動を組み立てるモデルケースとして提案したのが、フリーペーパーの作成・発行です。子猫事件の経験によって社員間で動物愛護の意識が高まり、「地域の皆様の役に立つ生きたペット情報を届けたい」との想いから、フリーペーパーのテーマは「北九州発のペット情報誌」に決まり、2012年4月「Animö」が創刊しました。

創刊のきっかけは会社に着いた一匹の迷い猫

「Animö」の編集は、当社の女性社員4人が中心となり行っています。創刊にあたっては設置場所や広告募集のため、動物病院やペットショップへ一斉にテレアポや飛び込み訪問を行いました。認知度もなく悪戦苦闘の日々が続きました。社員自ら企画を練り、地元の下ツグカフェや散歩コースを取材した中で、徐々にペットの愛好家コミュニティで応援して下さる方を獲得していきましました。2014年からは「北九州どうぶつ愛護フェスティバル」に参加し、撮影会を通して読者の皆様とふれあうことで、デスクワークだけでは得られない喜びを得ているようです。そして2016年10月には5年10号という節目を迎える「Animö」。社員自らが技術を磨き、地域貢献にも繋がる大切な橋渡し役となっています。

社員自らの企画により編集やデザイン機能が成長

“伝えたいを広げたい”

KOHO 株式会社

〒807-0824  
北九州市八幡西区光明 1-7-15  
Tel.093-602-4461  
Fax.093-602-5027  
www.pr-koho.com

経営理念

- 全社員が物心両面で幸福であり、夢と誇りを持って活躍できる人間集団。
- お客様に喜びと満足と感動を提供するベストパートナー。
- 「情報を伝える」事業を通して地域社会と共に発展・向上する良識ある企業市民。

わが社のイチオシ 第1回



自社編集のフリーペーパー

秋好哲美氏

Tetsumi Akiyoshi

KOHO株式会社(1957年設立)。広報誌・機関紙などPR媒体の企画、編集から発行までを担う印刷会社。PRパートナーとして広報活動のサポート業務。企画、デザイン、DTP、取材・編集、印刷、Web、広報DVD企画・制作など。





## 会員からの投稿

# Voice

## 大牟田で熊本地震の復興支援

熊本震災から2ヵ月、復興を支援しようと(株)カンカングループの富山博史社長(大牟田支部)及びその同志が立ち上がりました。6月26日の1日限りのチャリティーイベントでした。

場所は富山さんが同友会のソーシャル委員会で学び作り上げたリノベーションを施した大牟田市内の自社ビルの屋上。熊本市内の飲食店数店がその屋上で一日限りのお店をオープン。熊本市内のお店の方々以外は企画運営、場所の提供まで全てボランティアで行われました。

当日は大盛況で、収益の一部は熊本日日新聞を通して支援金として贈られました。ただ、お金を寄付するのではなく、熊本市内の当事者が寄付をできる環境を提供する富山さんの支援の仕方に見習うことができるのではないのでしょうか。

精巧印刷(株) 平田 晋也 (大牟田支部)



運営に関わった方々



大盛況のチャリティーイベント



頂上での記念撮影

## 登らん会

約30年前に南支部を主体として山登りの会が発足しました。現在の会長は(株)花田設備の花田政彦社長です。他支部の方も参加され、ご家族や社員さんと一緒に月一度ほど登っています。山歩きはとてつきついですが、山でしか出会えない花々・頂上からの360度のパノラマは心身を癒してくれます。メンバーの一人が「今日も一日たっぷり楽しんだー!明日からまた一生懸命働ける!」とっていました。

ストレス解消・健康維持・仲間とのコミュニケーション…季節を感じ、自然や歴史とふれあいながら、各々の山歩きを楽しんでいます。

今年から8月11日 山の日が制定されました。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日だそうです。これを機に一緒に山に登りませんか?今年の山の日には福友支部登山部の方々と一緒に、立花山―三日月山登山を計画しています。クスノキ原始林もあり、山頂からの眺望は抜群です。

花ひめ 日高 恵美子 (博多支部)



下山するときも絶好の景色

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会  
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号  
福岡県中小企業振興センタービル11F  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター  
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル 808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター  
〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索